

# 磐城時報

廿二日發行

編輯兼發行 岡田弘成  
印刷所 磐城時報社  
發行所 磐城時報社  
一部金貳圓 一月金廿圓  
廣告料 一行十四字計五十日  
日刊(日曜除) 翌日休刊

## 大政翼賛運動の 地方的活動方法

### 平市有志が會合協議

平市大森勇、藤田榮助、半谷政期検閲について打合せ。  
喜、多田井笑次郎、後藤桂仙、  
山崎忠兵衛、大森庫の諸氏は發  
起となり去る十三日全國に發足  
した大政翼賛運動の地方活動の  
具体的方法を決定するため二十  
二日午後六時から平市紺屋町  
島無盡金庫樓上に會合協議す  
る。平署管内警察團長會議は二十五  
日午前十時から同署に開き、秋來春の豫定とある。

## 警防團長會議

平署管内警察團長會議は二十五日午前十時から同署に開き、秋來春の豫定とある。

## 貴衆兩院議員招待 時局座談會を開く

### 慶祝二千六百年の催し

平市青沼録太郎、泉村小林藏次郎の作兩地の漁船を自ら二つに  
平市秋原義雄、山崎與三郎、四つに分けて市場の如きも各區別に營  
倉町木村守江の各氏は皇紀二千六百年紀念に平市及び石城郡出でなく  
六百年紀念に平市及び石城郡出でなく現角對立の姿さへあるの其他を附  
身費衆兩院議員、安藤、本多兩で、これを除去しやう計畫は本山、平署  
子爵、諸橋久太郎、比佐昌平、年六月頃から唱へられていたが、  
星一の各氏を來月五日招待して、今回意を以て同岸警を掘鑿一  
慶祝の意を表し時局座談會を開く事になった。

## 中作港 暗礁除去

江名町仲の作漁港の暗礁場は港堤延長五十米を築設し折戸、中日午後七時二十分  
内中央に残る暗礁のため折戸、中日午後七時二十分から短時間氏

◎他店で御氣に召さぬ時  
は是非一度  
純下ライクリーニング  
機械を使用致します。  
正直なる仕事と優秀な  
技術を望まると方は  
平田町の  
白樂舎 ランドリー

## 植田方部 請負業結束

植田警察署管内土木業者の産業  
報國結成式は廿四日同署會議室  
で行はれる。なほ同縣聯合會結  
成式は本月末または來月一日  
高島で舉行する。

## 小名濱町會小名濱町

會は二十四日開き小名濱町  
會は二十四日開き小名濱町

## 醫藥品小賣商 廿四日創立總會

平市内外郷、好間、赤井、澤渡放送さる事となり巨匠に擔が  
神谷、草野、夏井、飯野、豊間んとする地方人士間の關心を喚  
鹿島十ヶ村を範圍とする平醫藥つてゐる。  
品小賣商組合は小野勇、山野  
邊東次郎、關内榮助、鈴木新右  
工門氏等發起で結成準備中の處  
二十四日午後一時から平市公會  
に創立總會を開き定款制定、

## 下から觀た新體制

「新體制」そのものが單に「  
...べからず」主義のもので  
なしに、進んで國民を一體一  
心の發奮たる統合の下に奮起  
せしめんとするものである限  
り、固くとして具體的であ  
らねばならぬ。取捨の要あり  
つた今までのやうな消極策で  
は事足らず、進んで固くその  
のを助長させるやうな策地を  
この世の中から驅逐するやう  
な方策の實踐がなければなら  
ぬ。さうした場合、前記のや  
うな多分に商人根性的なもの

## 葉煙草初收納 昨年より好成績

石城郡植田町煙草收納所の葉煙草約半歳を費し架設備所檢衡中の  
草ホワイトペーパー種一箱の收納は廿二日左の如く決定した旨  
一日川邊、勿來の一部を皮切り  
に行はれたが、縣下最初の收納  
で郡山專賣所加藤鑑定課長一行  
が出張會つた。總量百六千四  
百六十六キロ五十五、總實收金四  
千七百七十五圓七十八錢川邊村  
では一キロ當り七十六錢一厘、  
昨年に比して七錢六厘高、勿來  
町では七十三錢七厘、昨年に比  
ず二錢一厘高、しかも勿來町赤  
津要人、川邊村齋藤太郎の兩  
氏は共に最高二百七十七圓の  
續であつたが、本年は好天が續  
いたため品質、量目共に昨年よ  
りもよく、昨年の最高値二百九  
十九圓を突破三百圓にはなる  
ものと見られてゐるが、成育期  
にたばこ青虫の害が多かつたた  
め豫想よりは多少悪くなつてゐ  
る。

## 警城柔道 有段者會

警城柔道有段者會は二十七日  
町中九時から平商校講堂で審  
判要人、川邊村齋藤太郎の兩  
氏は共に最高二百七十七圓の  
續であつたが、本年は好天が續  
いたため品質、量目共に昨年よ  
りもよく、昨年の最高値二百九  
十九圓を突破三百圓にはなる  
ものと見られてゐるが、成育期  
にたばこ青虫の害が多かつたた  
め豫想よりは多少悪くなつてゐ  
る。

## 渡邊氏寄附 大湖一行來る

源寺住職渡邊則雄氏は市内久保  
町出身田舎源市君からの程歸  
還に際し戰友達の形骸料として一  
圓を同様に贈つて來たのに感激  
更に一圓を加へ金二圓を市後後  
奉公會に寄附

## 平局の 本年度電話 架設決る

平局本年度特別受理電話は受付後  
來る二十四日四倉町海岸埋立地

に於て開演することは既報の如く大浦村九頭、草野村十二頭、久  
くであるが、建元は同町興業師濱町十六頭、計七十一頭である  
齋藤常松氏にして、木戸大一人  
四、小人三十頭である  
野犬撲殺 去る六日  
り十九日まで十四日間四倉署管  
内の野犬撲殺を執行した結果、  
四倉町三十三頭、大野村一頭、  
好問星壽英(三八)は二十一日懲  
役一年十月に處せられた、同  
人は府中刑務所に服役中知り合  
つた東京市下谷區根岸桂正直方  
星勇三から三十五圓を詐取した  
ものである

## 劍劇界の大御所來る

日頃の念願が叶ひまして同志七十余名引引して懐かしい御當  
地「聚樂館」の舞臺へ御目見得に参りました。此度は東京  
大阪、京都を初め各方面に於て御賞讃を賜りました當り狂  
言のみを並べました、存分に働き抜く考へて御座います。  
「聖戰の秋」私共は一死演劇報國に邁進するつもりで一同  
張切つております。どうぞ私共の再出發を御指導御鞭撻下  
さるやう伏してお願ひ申上ります。

各位様 松園 桃子  
市川 百々之助  
御目見得藝題 二の替り藝題  
一、愛情の掙 一幕一、ふるさと 二幕  
二、劍と女 四場二、劍と女 一番舟 三場  
三、姫君やくざ 四場三、浪人十萬石 五場  
四、助入商賣 五場四、純情長脇差仁義 四場

われ、市井人には、いか  
にも市井らしい片々たる事  
象しか映らないのかもしれない  
。が、市井人といふことは  
つまり何處からみても國民大  
衆の中の一單位のことである  
さういふ存在の私が何か特別  
な幻想にでも憑かれてゐるの  
でない限り、私の主張する中  
には國民大衆の聲と云つたも  
のが含まれてゐない筈はない  
その論議によつてのみ、私は  
斯くは開陳の心算を得るのだ  
「新體制」が發表されて未だ  
日も浅い今日、それについて  
あれこれと差出がましい批判  
を加へるのは、どだい無理か  
もしれぬ。が、現は來たつ

容観」とは、いさゝかかけ離  
れたやうな事しか開陳できな  
かつたが、しかし「新體制」  
そのものが時々刻々の事象に  
則して、有機的な發露をみ  
なければならぬものである  
以上、「新體制」は斯く在り  
而して一般的現實は斯く在り  
とこの開陳を如何に埋合はせ  
行くか、われ、國民ににあた  
へられた非常時の課題である  
と同時に、政府當局の將來的  
な指導方針にかゝる重要問題  
でもあらう。その意味からす  
れば私のこの些々たる一篇も  
どかどか表題の示す範圍の何  
處か一部の聲をあらはすもの  
も加へるべきであらう。

東寶映畫 聚樂館  
電話四七〇番

民族と優生法

(二) 外務省情報部

異民族の子孫は、畢竟亡びざるを得ない。唯一つこびずして存する機会のあるのは、離婚の一方の優秀民族の母體が依然として單一民族として存続し、混血の子孫がそのなかにまぎれ込んで居るときばかりだ。

女車掌

- (三名至急募集)
1. 未経験者に限る
2. 委細面談
3. 優遇す



三井
タクシー
電話六八五番



釜屋商店
電話九・九九番

御料理
むぎとろ

平市紅小路電四八八

開業

民刑法律事務所一般
内外特許事務一般

辯護士 増田 特許事務所
平市搔搔小路一
電話平六二五番
振替仙臺一〇九三五番

かまぼく 製造
折詰生造
お惣菜さつま揚・吉原揚
平市一丁目

不夜城
配達人入用 電話一四一番

内臓外科
整形外科
レントゲン科
松村外科
醫學博士 松村 亨
平市南町 松村醫院外科部

漢方 生公華
貼薬
漢方 生公華
漢方 生公華
漢方 生公華

どんかつ
専門の店
御ひいきをお願致します
午前十一時より午後十一時まで
平市仲田町
電話四六五番

家の家
(出前迅速)
電話四六五番

野内商會
發賣元
燒土管 在庫豊富
電話一一番

カリエス
高血壓
一二葉滋器治療所
平市大町 電話一九三番

耳鼻咽喉科
醫學博士 増田 之
平市紺屋町(電六五一)

コック見習
女給さん
至急募集
平市四丁目
電話三七三番

出しの素
美味で滋養に富み安價で便利
國策に添ふ理想的調味料
御愛用願ひます

鑄物の代用品
國策線上ノ改良品
セメント製マンホール 金三五〇各種
同 風窓 網 金五十五各種

今井商店
製造 一袋廿錢
販賣元
今井商店鹽釜出張所
電話二五八番